

平成27年度
牟岐町立牟岐中学校
「学力向上実行プラン」

研究テーマ

- ①主体的に学習に取り組む態度を養い、課題解決のための思考力・判断力・表現力を育む。
- ②人権を重んじ、お互いを認め、助け合い学び合う生徒集団を育てる。
- ③小中一貫教育のあり方を追求する。

学力向上検討委員会構成

(1)基礎的・基本的な知識・技能の習得

児童生徒の状況	具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よさ 学習意欲を持ち、与えられた課題に確実に取り組む。どの教科においても「知識・理解」については一定の成果が見られる。	①意欲的に授業に取り組み、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができる。 ②適切な言葉を用いて文章を読んだり書いたりできる。	・全国調査・ステップアップテストで平均正答率が県平均以上	○授業での学習内容を振り返る活動が、全国平均よりも少ない。わかりやすい授業を展開するために、『めあて』や『振り返り』を位置づける授業を全教員が徹底して行う。	①学習アンケートで、「先生の説明はよく分かる。」と答えた生徒の割合は92%であった。 ②知識・技能において、A・B評価の生徒の割合は80%以上であると 思う教員の割合は77%であった。 ③学力向上委員会を学期ごとに開催した。 ④自主学習ノート・生活記録の点検は毎日、ノートやワーク類の点検は定期テストごとに実施した。	学校評価(自己評価)で生徒の90%が「授業に真面目に取り組んでいる」と回答した。全国学カテストやステップアップテストでは、平均を大きく上回っていた。 生徒が真面目に課題や授業に取り組み、教員が個に応じたわかりやすい授業を展開していることが成果となって現れている。
課題 話を聞き、内容をつかむ力が十分でない生徒や、理解に時間がかかる生徒もあり、学力の二極化が見られる。きめ細かい個別指導と授業の工夫が必要である。書くことに関する支援が必要である。	①授業の初めに「めあて」を提示し、授業の終わりに「振り返り」を位置づけ、わかりやすい授業を展開する。 ②ワークシート等の教材の工夫、ドリル学習や小テストを行うなど授業改善に努める。 ③支援の必要な生徒に対し、少人数指導やチームティーチング等の授業改善を図り、教師間の情報交換を密にきめ細かい指導を行う。 ④ノート指導や生活記録の指導を充実させる。	①わかりやすい授業が展開されていると思う生徒の割合が80%以上 ②知識・技能において、A・B評価の生徒の割合が80%以上 ③学力向上委員会を学期ごとに開催 ④自主学習ノート・生活記録の点検は毎日、ノートやワーク類の点検は定期テストごとに実施		次年度における改善事項	
				A	「わかりやすい授業が多い(展開されている)」については、生徒の86%が肯定的な回答であった。生徒の肯定的な回答が、73%→79%→86%と学校評価でも、3年間で徐々に向上している。 個に応じたわかりやすい授業に向けて、チームティーチング・少人数指導・小中連携指導などを継続し、授業改善に努める。 また、どの生徒にとってもわかりやすい授業にするために、学年の発達段階に応じた『めあて』や『振り返り』を位置づける授業を、全教員が継続し徹底して行う必要がある。さらに、支援の必要な生徒に対して、個別の指導できる時間の確保について検討したり、通常の学級の授業における包括的な学級支援(インクルーシブ教育)のあり方について研修を深め、全教職員の共通理解を図っていく。

(2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況	具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よさ しっかりと自分の考えを持ち、自分の考えを伝えることができる。他の人の話を聞く態度を身に付けてきている。	①様々な視点から物事を捉え、人の話を聞き、自分の考えを筋道を立てて表現することができる。 ②積極的に読書に親しむことができる。	①「自分の考えを他の人に説明したり文章に書いたりするのは難しい」と思わない生徒の割合が60%以上 ②読書が好きであると答える生徒の割合が70%以上	○「自分の考えを他の人に説明したり文章に書いたりするのは難しい」や「友達の前で話をするのを得意としない」では二極化がみられる。一人ひとりの生徒が発表する機会を多く設けることを継続する。	①週に1回以上発表する生徒の割合は40%であった。 ②研究授業を各学年1回以上実施した。 ③全校読書を年2回実施した。	①「自分の考えを他の人に説明したり文章に書いたりするのは難しい」と思わない生徒の割合は49%で、3年生では60%であった。 ②読書が好きであると答える生徒の割合は66%で、3年生では78%であった。
課題 人の意見を聞いた上で自分の意見を表現することに課題がある。また、自分で調べたことや考えたことを説明したり、文章で表現することに課題がある。文章を読み取る力が不足し、問題文の意図を理解せずに解いたり、記述式問題での白紙が目立つ。	①各教科で生徒が自分で調べたことや考えたことを発表したり、文章で表現する機会を多く設ける。 ②学年の課題に応じた研究授業を実施する。 ③毎日「朝の読書」を実施し、読んだ本の内容や感想を、生徒が発表する機会をもつ。	①週に1回以上発表する生徒の割合が80%以上 ②研究授業を各学年1回以上 ③全校読書を年2回		次年度における改善事項	
				B	「キャリア教育」(3年・2年)、「人権学習」(1年)の授業を通じて、生徒が自分で調べたことや考えたことを発表したり、文章で表現する機会を多く設けることができた。その結果、他教科でも積極的に言語活動等に取り組む姿勢が、見られるようになっているので、研究授業のテーマについても検討し、効果的な指導を継続していく。 「週に1回以上発表する」生徒の割合が低かったが、「手をあげて発表する」ように教員が指導していないことがある。表現する力をつけていくために、どのような方策があるか研究が必要である。 全校読書については学期に1回実施する。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況	具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よさ 前向きに学習に取り組む姿勢がみられ、自主学習ノートや宿題プリントなどの課題にも真面目に取り組むことができる。	①将来の夢や目標を持ち、学ぶ楽しさや喜びを感じて、自信をもって粘り強く学び続けることができる。 ②学校や家庭における学習習慣を身に付けている。 ③あいさつができ、よい人間関係の中で安心して学校生活をおくることができる。	①「目標を持って学校生活を送っている」と思う生徒の割合が80%以上 ・「①分からないときあきらめないで考える」や「②疑問に思うことを自分で調べている」と答える生徒の割合が80%以上 ②各授業の開始時間に、授業の準備をして着席している生徒の割合が90%以上 ・宿題や自主学習ノートを提出する生徒の割合が80%以上 ③学校が楽しいと答える生徒の割合が90%以上	○目標を持って学校生活を送っている生徒の割合は目標に達していないが、楽しいと答える生徒の割合は高い。個に応じた配慮や支援を継続する。 ○家庭での学習について、生徒一人ひとりに振り返りをさせ、家庭学習習慣を身に付けさせる。特に意欲的に取り組む事ができない生徒については、全教員で共通理解を図り、成功体験を積み重ねる。	①小中連携オープンクラスを年2回、市宇ヶ丘研修会を年3回実施した。 ②自主学習ノート・星取り表などを振り返り、改善するために取り組み結果等を、各学期2回以上掲示した。 ③「家庭学習星取表」を活用している生徒の割合は67%であった。	①「目標を持って学校生活を送っている」と思う生徒の割合は72%、3年生では82%であった。「①分からないときあきらめないで考える」と答えた生徒は72%、「②疑問に思うことを自分で調べている」と答えた生徒の割合は58%であった。 ②各授業の開始時間に、授業の準備をして着席している生徒の割合は85%であった。宿題や自主学習ノートを提出する生徒の割合は86%であった。 ③学校が楽しいと答える生徒の割合は87%であった。
課題 固定化された小集団での学習に慣れ、好奇心や向上心に広がりや深まりが乏しい。 また、自ら課題を見つけていくなど探求心を持って取り組む意欲が乏しく二極化傾向がある。 TVやゲームの時間が長く、家庭学習の習慣がない生徒もいる。	①牟岐町保・小・中一貫教育推進に取り組み、生徒の主体的な体験や活動を取り入れ、魅力的な学校づくりに努める。 ②模範となる取り組みを掲示し、生徒の意欲を高めたり、成功体験を多く味わうことができる授業を工夫する。 ③「家庭学習星取表」を作成し、よい生活習慣や学習習慣を身に付けさせ、学習に対する目標を持たせる。	①小中連携オープンクラスを年3回以上、市宇ヶ丘研修会を年3回以上 ②自主学習ノート・星取り表など振り返り改善する機会を各学期2回以上 ③「家庭学習星取表」を活用している生徒の割合が80%以上		次年度における改善事項	
				B	生徒が目標を持って学校生活を送ることができるように、学校の規模を生かした取り組みを行う。教科担任だけの取り組みでない教科指導、また学級担任だけの取り組みでない各教科・総合・学活・道徳・行事等を通じたキャリア教育や人権教育の推進を継続する。 上の学年になるにつれて、成功体験を生かした目標のある意欲的な生徒が増えてきている。生徒会活動や行事・部活動を通じて、生徒同士の縦のつながりを生かした指導を継続していく。 小中連携オープンクラス・授業研究会の充実を図る。

平成27年度 学力向上ロードマップ

